

4月5日、全国漁業協同組合連合会は、東電が福島第一原発施設内の放射能汚染水を海洋に放出、この判断について政府が許可したことに関連して、抗議声明を発表しました。

福島第一原発放射能汚染水放水に対する抗議

4月4日、政府は福島第一原発施設内の放射能汚染水を、漁業関係者に何の相談もなく大量に放水することを決定し実行するという暴挙に出た。

本会は、東京電力の関係者に対し高濃度放射能汚染水の海への流出を一刻も早く止め、これ以上の海への流出を行わないことを強く申入れてきたにもかかわらず、国と東京電力はこれを無視し、我が国漁業を崩壊に導く放射能汚染水の放水を強引に実行した。

地震による施設の損壊状況の把握や放水による水の処理等、当然として行わなければならない手立てを何ら行わず、このような重大な事態を引き起こした、国と東京電力の責任は到底許されるものではない。

海で生計を立てている全国の漁業関係者は、無責任な対応に計り知れない強い怒りを抱いている。

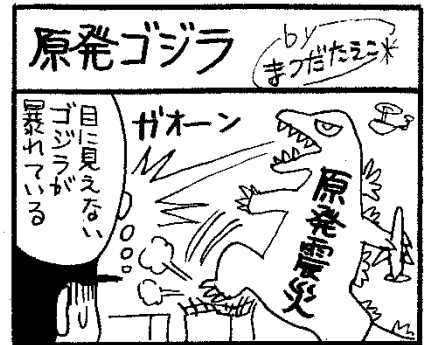
我が国漁業を死に至らしめないため、汚染水の放水を一刻も早く中止するとともに、高濃度汚染水の流出防止にあらゆる手を講じなければならない。

今回の国と東京電力の一方的な決定によりなされた暴挙と高濃度汚染水の流出が引き起こすあらゆる問題への対応や、直接、間接を問わず関係者の被る全ての被害に対する補償は、国と東京電力の責任において実施することを直ちに明らかにすることを求める。

平成23年4月5日 全国漁業協同組合連合会

我々、漁業者をあなた方は無視をして本当に殺してしまう。我々はこの原発の設置についてはある程度理解を示して来たつもりでございませぬ。全国的に理解を示してきたつもりです。それを……その当時には放射性物質は一切でないと、そういう説明を我々は聞いてきた。それを……なんか……今回の場合は事故で漏れ出るのは仕方がないにせよ……人為的に捨てるということは……こういうことをされるとは……漁業者の代表として本当に許しがたいことなんです。これは一刻も早く止めてもらいたい。誰が決めたのかは我々は知りませんが、あなたたちの責任において即止めてもらいたい。もっと処理の仕方はあると思います。それを考えるのがあなたたちの役目で我々の役目ではない。そう思います。一刻も早く止めてもらいたい。そして、今漏れ出ているものを、本当に何回もお願いするんですが、早く止めていただいて。あの……すでに一昨日もお願いしたとおりにあなたたちは東京におりながら……さっき会長にもお話ししようかと思ったんですが、東京の水産物の流れというものをみたことがあるのか？ 聞いたことがあるのか？ 聞きもしない。一切無視をしている、と。我々は……ほんとに事故がおきてから魚が売れない。ここの周辺のものだけじゃないんです。福島/茨城/千葉だけではない。全国的に売れないんです。海外のものまで影響している、日本の食用水産物が本当にストップしてしまう。今の時点で我々が関係ないと思っている北海道から九州のものまで影響があります。これはもう売れない、と。これはやっぱり今後これは考えてもらわなければならない。まあ、感じとしては、我々漁業者のことは「どっちでもいいわ」ということで取り組んでおられると。そのように理解してますよ。今後一切、もう何の協力もできないと。日本中の原発を全部ストップしてもらいたいなど。そう思いますね。

文字起こし by 小嶋裕一さんより抜粋



2011. 3. 30. 8:30PM*

関西合同労働組合機関誌「拓」用マンガ